

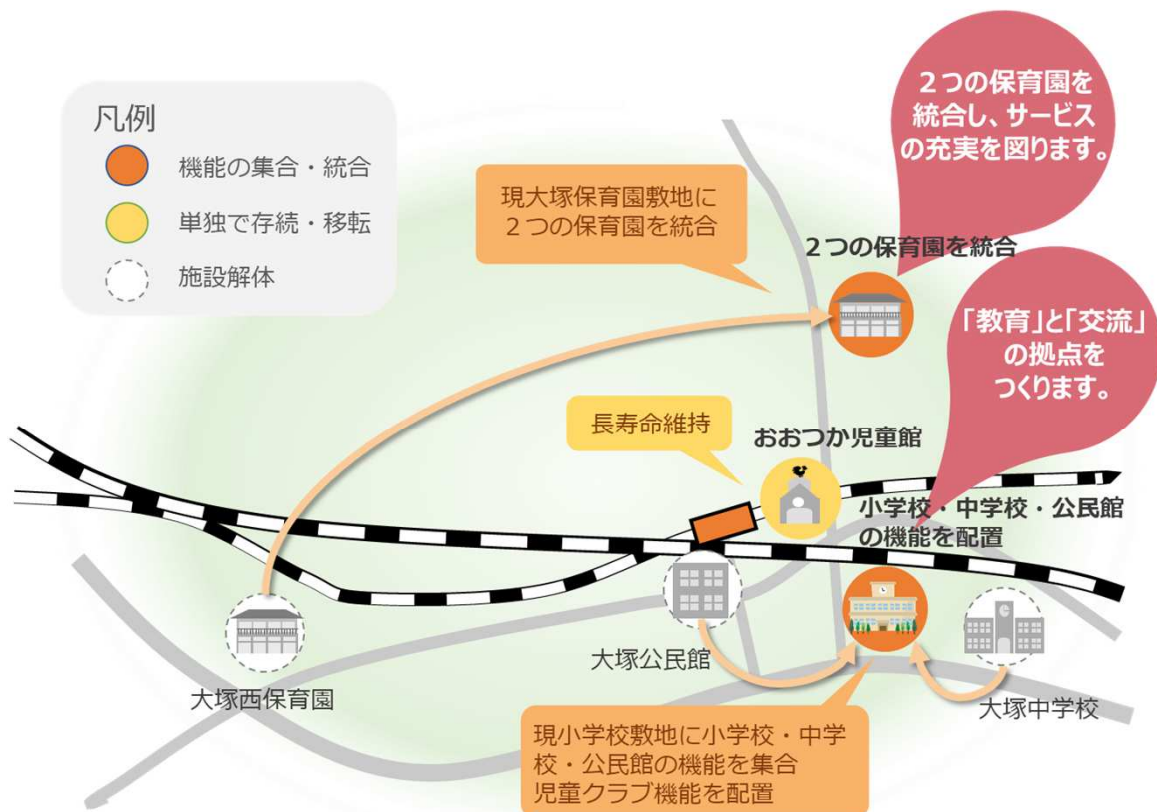
蒲郡市公共施設マネジメント実施計画に基づく 大塚地区個別計画

コンセプト

子育て機能を充実させ、
「教育」と「交流」の拠点をつくる

施設再編の内容

- 大塚小学校・大塚中学校・大塚公民館の機能を現在の大塚小学校の敷地に集合させ、「教育」と「交流」の拠点を形成します。
- 大塚保育園・大塚西保育園はより高台にある現在の大塚保育園の敷地に統合させ、低年齢児保育と延長保育が実施可能な規模の保育園を整備します。
- 児童クラブの機能は、小学校と同じ敷地に設けます。
- おおつか児童館は、現地で長期にわたって利用できるような適切に維持していきます。



期待される 効果

教育環境の充実

- 学校規模の拡大により、児童生徒が互いに見習いあう環境が充実します。
- 小中学校の連携により、学校行事を一緒に行うなど盛り上がり期待できます。

安全性の確保

- 保育園を海拔の高い敷地で統合することにより、災害時の被災リスクを軽減します。
- 中学校が小学校の敷地で移転することにより、全体として中学生の通学距離が短縮されます。

子育て環境の充実

- 保育園を統合・適正規模化し、設備や職員を充実させることで、新たに低年齢児保育や延長保育を実現することが可能となるとともに、子ども同士や保護者同士の交流が広がります。
- 児童クラブを小学校と同じ敷地に設置することにより、交通事故など移動時の危険がなくなります。
- 保育園が道路アクセスのよい敷地で統合することで、保護者による送迎等の負担軽減が期待できます。

交流の活性化

- 小学校、中学校、公民館が集まることで、幅広い世代間交流が活発になります。
- 地区の行事や活動の際に、体育館やグラウンドなどの学校施設を利用しやすくなり交流機会が充実します。

費用の縮減

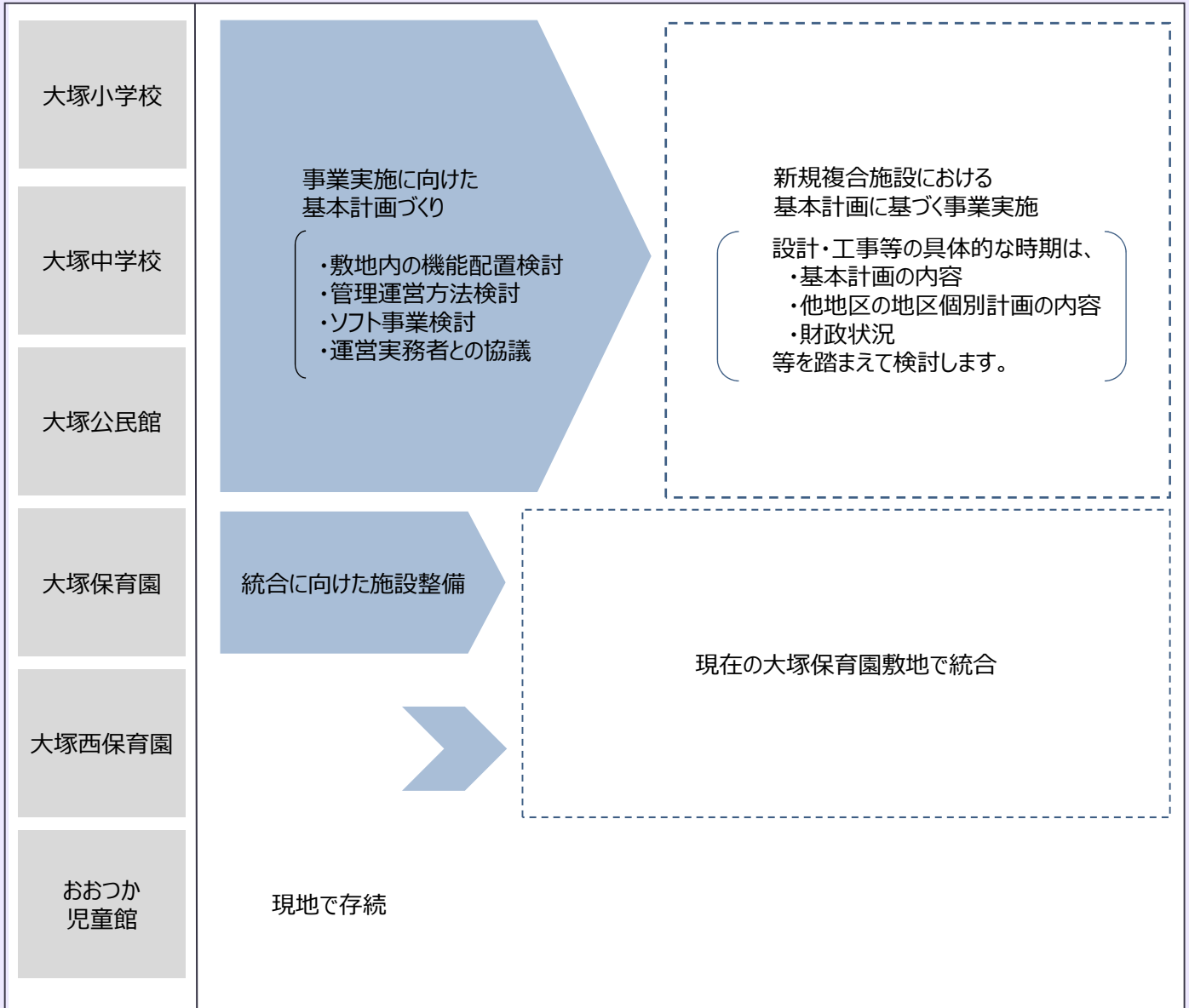
- 施設の供用や規模の適正化により維持更新費用の縮減につながります。また、運営の効率化や一元的な管理により、運営面での費用の縮減が可能となります。

- 施設整備についての詳細な検討を行う中で、駐車場・グラウンドなど、必要な機能を確認し機能の維持に努めます。
- 子どもの安全確保や学校教育に支障が出ないよう十分に配慮して、施設の設計や運営方法の検討を進めます。
- スペースの相互利用や運営での連携が円滑に行われるよう、設計上の工夫を行います。
- 施設の整備に際して、若い世代が交流活動や学習活動で利用しやすい機能や運営方法を考えます。

整備を 進める上で 配慮すること

- 施設再編後の跡地については、防災や子育て等さまざまな視点から必要となる機能を検討します。
- 学校の整備と並行して、通学路の安全性についても検討します。

施設整備についての今後の取り組み



本計画の見直しについて



- 本計画は、今後の社会状況、経済・財政状況、ニーズの変化に対応するため、見直しを行い内容を変更する場合があります。

蒲郡市公共施設マネジメント実施計画に基づく大塚地区個別計画

発行 愛知県蒲郡市
愛知県蒲郡市旭町17番1号
TEL 0533-66-1111 (代表)

発行年月 令和4年12月



地区の皆様の思い

蒲郡市では、小中学校・保育園・児童館・公民館の再編にあたり、地域の特性や特徴を施設に反映し、再編がまちづくりにつながるように、地区住民の皆様のご意見を伺う機会を設け、市民協働により、中学校区を単位とした「地区個別計画」を策定することとしています。

大塚地区の皆様からご意見を伺う機会として、「大塚地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を令和3年8月から令和4年3月にかけて開催しました。また、オープンハウス(パネル展示型説明会)を地区内3会場、中学校及びインターネット上で行い、ワークショップ参加者以外の方のご意見を広く伺いました。

地区の皆様のご期待をもとにして、市は、この「大塚地区個別計画」を策定しました。以下は、ワークショップに参加された皆様から大塚地区の将来を考える上で重視することとしていただいたご意見です。

交流

多世代交流

- 施設複合化で子どもが大人の活動を身近に感じられるのはメリット。
- 高齢者と孫の遊び場や若者の発表の場など日常的に交流できる施設となるとよい。
- 農業を通じて世代間交流ができるようにしたい。

外国人との共生

- 外国人の多い地域なので共生を考えたい。
- 地域の外国人が施設を利用することで交流が増えるとうい。

若者の居場所

- 高校生・大学生の居場所がない。彼らが来なくなる空間があると他世代と顔を合わせることができる。

高齢者の活躍

- 公民館と他施設が複合化することで、高齢者に役割を与えたい。

子どもの居場所

新たな居場所の創出

- 子ども達が自宅以外に過ごせる居場所があるとよい。
- 地区内に公園が少ない。子ども達の遊び場が欲しい。

- 地区の子ども達の交流機会を作りたい。
- 複合化した際、校庭の広さ等で子ども達に不自由させないような配慮が必要。
- 大塚地区は人数が少ないためか子ども達の仲がよい。問題がないのであれば小中一緒にしてもよいだろう。

子育て

送迎

- 児童クラブが1か所になると兄弟で違うクラブを利用する家庭の送迎が便利。
- 保育園と児童クラブが同じ場所にあると送迎が一度で済む。

保育サービスの向上

- 低年齢児保育が整っていないことが子育て世代が移り住まない要因になっている。今後も共働き世帯は増えるので改善してほしい。
- 2 保育園の統合で低年齢児や保育時間等のサービスを向上してほしい。

安全

セキュリティ

- 複合化や交流の視点も大事だが、子ども達のセキュリティも重要だ。

交通安全

- 公民館周辺など旧道は道が狭く交通量も多いため危険。施設へ安全に通える道を整備してほしい。
- 徒歩でも自転車でも安全に移動できるまちになるとよい。

防災

- 「想定外」といわれることが増えている。災害時を考慮して施設の配置を考えたい。
- 伊勢湾台風では小中学校敷地が浸水した記憶がある。安全だと聞いてもやはり心配。
- 自力で避難できない乳幼児が通う保育園は安全な場所に配置したい。

利便性

アクセス

- 地域の魅力は感じているが、車がないと移動できない。くるりんバスなどアクセス性を向上させたい。

施設の配置

- 公民館の立地は地区の中心に近く便利なので活用したい。
- 分村合併により施設が地区の東端に偏っている。配置のバランスが悪い。

機能の充実

- 公民館にオンライン会議の場や学習スペースがあると便利になる。
- 新たな公民館には情報提供や地域交流の機能を充実させてほしい。

その他

- 自然が多いのが大塚の魅力だ。施設も自然を活かすと魅力につながるのではないか。
- 若い世代が移り住んでくれるような地域を作りたい。
- 大人だけでなく子ども達の目線でも暮らしやすいまちになってほしい。

- ◆ ワークショップでのご意見の詳細やオープンハウス(パネル展示型説明会)でのご意見等は、市ホームページに掲載しています。